

エネルギー地産地消 フォーラムin西濃のご案内

参加無料

<開催趣旨>

県では、平成28年3月に改定した「岐阜県次世代エネルギービジョン」に基づき、再生可能エネルギーの導入拡大や省エネルギーの推進とともに、地域で創出した再生可能エネルギーを地域内で効率的に利用する「エネルギーの地産地消」の実現に向けて取り組んでいるところです。

こうした取組みについて「なぜ、自治体や地域の事業者が地域エネルギーの推進に取り組む必要があるのか?」「どうすれば、エネルギーを地域経済の活性化につなげられるのか?」「効果的な政策は、どのように実現するのか?」など、エネルギーの地産地消をめぐる様々な疑問に対し、豊富な実務経験をもつ講師や全国の先進事業者が、実際の事例を紹介しながら解りやすく解説します。



日時

平成31年 2月25日(月)

午後1時30分～午後4時00分 (受付 午後1時00分～)

会場

ソフトピアジャパンセンター

10階 大会議室 (大垣市加賀野4-1-7)

基調講演

「自立分散型エネルギーシステムによる地域活性化・防災力強化」

講師：(一財)電力中央研究所 エネルギーイノベーション創発センター 研究参事

兼 岐阜大学 地方創生エネルギーシステム研究センター 教授 浅野 浩志 氏

講師紹介： 東京大学大学院工学系研究科修了。電力中央研究所では主にデマンドレスポンスや需給協調、経済を研究分野とし、東京大学客員教授、東京工業大学特任教授を兼務。

北海道胆振東部地震でのブラックアウトを受け全国的に自立分散型のエネルギーシステムに関心が高まる中、本フォーラムでは再生可能エネルギーを活用するマイクログリッド等分散型エネルギーシステムを地域の経済・防災等にどう活用するべきかを講義する。



先進事例紹介

①「地域・工場と連携したエネルギーマネジメント”F-グリッド”の取組み」

(トヨタ自動車(株)新事業企画部)

②「中山間地における水素社会実現に向けた取組み」 ((株)清流パワーエナジー)

お申込み
は裏面へ

【お問合わせ先】岐阜県商工労働部新産業・エネルギー振興課 (担当：安藤)

TEL：058-272-8835 FAX：058-278-2653

E-MAIL：c11353@pref.gifu.lg.jp

【会社概要】

トヨタは環境チャレンジ2050の達成に向け、エネルギー分野での新規事業にも取り組んでおり、プリウスのリユース電池活用をはじめとした電動車普及に備えた社会基盤づくりや、水素社会の仲間づくりの取組みを通じ、自動車のモノ売りからの脱却や再生可能エネルギーの普及に向けた検討及び事業化を推進している。

本フォーラムでは、地域と連携しながら工業団地を中心にエネルギーマネジメントを実現している“F-グリッド”を紹介する。



(株)清流パワーエナジー

【会社概要】

平成27年11月設立。水素社会の実現を目標に、水素インフラ事業、再生可能エネルギー事業を総合的に展開している。特に岐阜県八百津町においては、木質バイオマスや太陽光等の再生可能エネルギーから創出した水素エネルギーを有効活用する「地産地消型エネルギーシステム」の構築・実証を行うとともに、新たな地域産業・雇用の創出に取り組んでおり、本フォーラムでは同事業について紹介する。



エネルギー地産地消フォーラムin西濃 参加申込書

名称 (会社名、団体名)				業種 事業内容			
参加者名	部署・役職				氏名		
	部署・役職				氏名		
連絡先	所在地 (〒 -)						
	TEL	()	-	FAX	()	-	
	E-MAIL						
講演に対する 事前の質問							

【アクセス】



【公共交通機関でお越しの方】
JR「大垣駅」からバスで約15分

【お車でお越しの方】
名神高速「大垣IC」から約10分

【申込先】 岐阜県商工労働部新産業・エネルギー振興課

E-MAIL : c11353@pref.gifu.lg.jp FAX : 058-278-2653

【申込期限】 平成31年2月20日 (水)